

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

辻立ちのお地藏さんのその小柄小菊が揺れてあしもとのもの	1月13日	O
雪の日に部屋を明るく照らすごと橙色に咲くカラッコエ	1月18日	N
正月の生花に添へたる千両の朱の実をほぐし餌皿にのせる	1月24日	K
飾りは眼のためのもの川橋のたもとを飾る樟 <small>くすのき</small> ひとつ	1月28日	O
オミクロンは風邪と言ひ切る医師のゐて南天の実に雪は降りしく	2月3日	N
苗木より育てし紅梅この年も立春たがへず一輪開く	2月17日	K
この日みた花白梅は白いろといいきれぬいろを見上げて	2月21日	O
春が来る魚と聞きてスーパーに庄内浜の茶メバルを買ふ	2月24日	N
寒風に苛まれつつバス待つに河津桜の咲き初むる知る	2月28日	K
さし渡す枝のみなるは梨の畑 <small>はた</small> ここに初音はうぐいすのもの	3月7日	O
春が来て小鳥のさへづり聞こえればいかにも悲し人の戦ひ	3月24日	N
公園の桜が一分咲くを見て戦に果てし若人思ふ	3月25日	K
さくらばなそのあしもと同じく葉に先んじて花は連翹	4月1日	O
お花見の噂を関東より聞きて一週間の後に羽州の連翹	4月7日	N